



堀船中だより

北区立堀船中学校長 鈴木 格也



校 風

校長 鈴木 格也

学校ホームページにも取組状況を紹介していますが、先月は「生徒会役員選挙」「区民まつり」「1学期終業式・2学期始業式」「ほりふな祭」「少年の主張発表大会」「連合音楽会」「連合学芸会」などの文化的行事や儀式的行事、地域行事などで様々な活動がありました。特に、ほりふな祭に於いて、3組音楽発表ではハンドベル演奏や手話を交えた歌、合奏など多彩な発表があり、見応え聞き応えがありました。また、クラス合唱や学年合唱の発表では、大変に素晴らしい感動しました。学年が1つ上がるごとに、声量や声の強弱、バランス、ハーモニー、テンポなど違いを感じるものがありました。英語スピーチも、大江戸ダンスや吹奏楽部も立派な発表でした。また、少年の主張発表大会に於いても、発表者の堂々と落ち着いて話す姿に、これから次の代を担うたくましさを感じました。各行事の取組では、各々の生徒が取り組んだ活動を振り返り、充実した思いや達成できた喜びを感じたと思います。主体的に目標を実行し、そのことが達成できたときには充実感も一入のことです。次の目標に向けて、また前進させてください。

これまでの活動の取組や学校生活の様子を振り返り、本校の生徒の素晴らしい行動力と先輩から受け継いできたと思われる良き校風として、次の3つが自信をもって紹介できると思いました。

1つは、「いつも明るい挨拶ができる」ことです。先生や主事さんと顔を合わせた生徒は、気持ちのいい挨拶を交わしています。職員室前にお見えになられた地域の町会や自治会の方、高校の先生方などにも明るく挨拶をしています。

2つには、学校行事などに意欲的に取り組む「行事に燃える意欲」があることです。これまでの運動会やほりふな祭の取組をはじめ、各学年の宿泊行事においても、とても意欲的に参加している姿が見られました。

3つは、「ボランティア活動への協力」です。本校は地域の町会・自治会とのつながりがとても深い学校です。これまでに、堀船、栄町、昭和町のお祭りなどで、若い中学生の力を必要としているところに、ボランティアとして協力してくれました。地域から喜ばれる声がたくさんありました。これら3つの事柄、「いつも明るい挨拶」、「行事に燃える意欲」、「ボランティア活動への協力」は堀船中学校の良き校風として、今後も続いてほしいです。

さて、大きな行事も一区切りしたところで、第3考査までの日にちも迫っていますから、改めて学習面に向き合い、今後の取組に全力を尽くてください。



「3組ハンドベル演奏」



「3学年合唱」



「大江戸ダンス隊演技」



「少年の主張発表」

◆ 令和7年10月18日(土)の『ほりふな祭』より ◆

今年のほりふな祭は、「つなげよう 私たちのほりふな祭 リボンとどけ ひびけ♪ 堀船魂 热き想い」というテーマのもと、全校合唱やクラス合唱、吹奏楽部の演奏、英語スピーチの発表などで取り組みの成果を発表しました。合唱では、他の行事等の関係から十分な練習時間が取れない状況もありましたが、それでも生徒たちが放課後や音楽の授業で一生懸命に練習する姿に、大きな成長を感じました。ほりふな祭にご参観いただきました地域の皆様、保護者の皆様の温かい応援が、生徒たちにとって大きな励みとなり、聴いているすべての人々の心に、生徒たちの熱意と努力がさらに伝わる、気持ちのこもったほりふな祭となりました。生徒の皆さん、地域、保護者の皆様ありがとうございました。



◆ 令和7年10月25日(土)の『令和7年度 第45回 少年の主張発表大会』より ◆

今年の少年の主張発表大会も、堀船中学校生徒6名、堀船小学校・滝乃川第五小学校の児童各1名が自身の主張を堂々と発表し、その姿勢と内容を通じて、見事な成長を遂げたことを感じさせてくれました。どの発表も内容の深さと表現力の豊かさにおいて素晴らしいものであり、グローバルな視点で社会の問題を捉え、今後どのように関わっていくかを力強く伝えていました。家庭や友人、地域社会とのつながりをどのように築いていくか、未来に向けた決意を表明するなど、小・中学生が広い視野をもって問題を考えていることがよく伝わりました。

少年の主張発表大会に参加した生徒からは、自分の意見を堂々と表現する力を、そして、その発表を聞く生徒からは、他者の意見を大切にする姿勢が感じられました。今後も、このような機会を通じて、地域との繋がりを深め、より成長していくことを期待しています。

